平成 23 年度第 3 回 黒潮会幹事会

平成 23 年 10 月 23 日（日）午後 1：30～4：30　目黒区八雲住区センターにて

参加者:河北紘明(11 期)　安部俊秀(19 期) 深澤紀子(21 期) 森田佳代子(21 期)　大石隆彦(24 期)
大賀周也(28 期) 柳川真佐子(30 期) 三縞朝子(37 期) 片瀬徳哉(45 期)　関野裕樹(56 期)
藤本竜汰(60 期)

1.親睦事業関連
①今年度の総会・懇親会の総括と今後の課題
・総会の流れは良かったと思う。出欠の返信が少なかったのが残念だった。初めて企画したＯＧ向けプール解放の参加者は少なかったが、会員からも良いアイデアだとの声もあったので広報のやり方を改善して来年も続けたいと思う。懇親会では年代間の交流をもう少し促したり、短いスピーチがあってもよかったかと思う。(深澤)

・懇親会の出席者は 31 名だった。若手ＯＢ・コーチ・短時間の参加者の会費を割引きした。　残金を黒潮会に寄附した。(大賀)

・総会の受付は領収書の発行などが結構大変だった。総会への出席を個別に電話でお願いしたところ感触が良かったので来年も続けていきたい。(森田)

・現役は総会後、黒潮会の存在を認識したようだった。顧問の先生から中学生にとっては総会の話が長かったのではとの話があった。コーチからは現役のＯＢに対する挨拶の声が少なかったとの反省が出た。現役は黒潮会賞の受賞者について納得している様で、賞品のタオルの評判も良かったと思う。現役にとって表彰は貴重な場だと思った。(藤本)

黒潮会として見えやすい活動を目指してきたので、現役が黒潮会の認識を深めてくれたことは良いことだと思う。総会の時間配分については、最低限必要なことを押さえた上でコンパクトにすることも考えていきたい。(会長)

②黒潮会賞運営の総括と今後の課題
・投票用紙を 7 月 20 日頃配布したが集計が慌ただしかったので来年は 7 月初旬に配布する。（深澤）

・今年は同点受賞者が出たため記念品のタオルを 4 枚使用したが来年も同様のものを追加注文できると思う。受賞者が 16 校のレース入場で賞品のタオルを使ってくれていた。（大賀）

・　投票用紙だけでなくメールによる投票も考えてみてはどうか。（藤本）

・贈呈式が長過ぎたとの声を参加ＯＢから聞いた。(大石)

2.広報事業関連（大石）
①黒潮会ホームページ運営の状況と今後の課題

ＯＢ掲示板の管理は大石、コーチブログの管理と 30 傑のアップは久永、現役のホームページは久永・藤本が中心に行っている。ホームページの運営を引き継いでいける若手ＯＢを発掘していきたい。

②黒潮会報の内容と日程計画
ＯＢの近況報告と現役の活動報告を載せたひな形を作った。 各事業担当幹事の活動報告、黒潮会総会の報告、会費納入のお願いなどを加えたいとの意見が出た。（会長がそれらをまとめる）
Ａ3 判 1 枚の体裁で年末を目途に発行する。

3.支援事業関連
①支援事業の現状と課題（片瀬）
・来年度のコーチの人員確保は不確定だが、コーチ活動のマニュアルを藤本幹事が作成したので活用していく。
・角田顧問の力を借りながらコーチを継続してできる環境作りや冬季シーズンの活動の活性化を目指す。また水泳の講習 DVD や水泳向け陸上トレーニングレーニング DVD を購入して角田顧問に解説してもらい現役・コーチ共々スキルアップを図る。
・マネージャー等の補助要員を確保し、事務作業・練習のタイム取り・監視等を行ってもらいたい。
・黒潮会がコーチを委嘱しているのでコーチに応急救護の資格取得をさせたい。その際は交通費程度を支給する。（その他、コーチのスキルアップの為の資格は個人的なものなので、個人負担とする）

②今年度のコーチ活動の反省と今後の課題（藤本）
・コーチ、スタッフの役割分担を適切にしたことで効率的に活動できた。
・角田顧問・片瀬幹事と連携を図り選手への接し方や部活動への仕掛けづくりについて指導して頂いた。角田顧問からは支援備品「トライタンフィン」の使用方法や技術指導を受け現役達に非常に好評だった。
・他の都立中高一貫校のコーチとの連携を強化した。（九段、小石川など）
・今年は震災の影響で合宿を強化練習として実施したが、来年は外部で合宿をする予定で 11 月に下見を行う予定。
・今シーズンの結果として 16 校大会の順位が向上し、個別でもタイムの向上が多くみられた。
・練習意欲を向上させ、自己分析ができるようにベストタイム表を作成。中学生が更新している
・新入生１０名も欠けることなく楽しそうに活動している
・行動面の確認の簡略化と幹部の選手の負担軽減のために水泳部のしおり作成を現役に依頼。　次期顧問への説明手段として活用、またコーチも技術指導に専念できる。
・角田顧問に DVD を使った解説講座をお願いする予定で、その模様を撮影しネットで見られるような形にしていきたい。
・配布資料や試合の記録等をＰＣファイル化して新年度のコーチへの引き継ぎ手段として活用する。
・６学年分のマンモスクラブ活動がスムーズに運営できるように色々と工夫をしている。
・ＡＥＤが事務室前に一台あるだけなので、プールのそばに設置してもらえるように要請して欲しい。（会長から学校に文書でお願いする）
　危険事故防止に対する安全対策には特に留意して活動をしてほしい（安部）
4.会計財務関連
①23 年度会計の現状
10 月 23 日現在、収入は例年並みである。

支出は予算枠内で推移している。

5.黒潮会の現状と課題に対する検討
①会費納入促進策と会員の会費の納入状況公開の可否
・ホームページ上に会費・寄附を払ってくださった会員名を載せることにする。
・総会は欠席でも黒潮会に関心を持って会費を払ってくれている人がいることがわかって良いと思う。（森田）

②黒潮会会員資格と黒潮会30傑記録の扱い
・これまで通り、中途退部や引退時期が早い現役の記録も30傑に載せる。
・引退時期が早い現役にも「水泳部員として卒業する」という自覚をもってもらいたい。（安部）

③黒潮会賞選考ガイドラインの見直しとその改定
公平に選ぶために投票用紙に1～3位まで記入投票してもらった。公平・公正が担保できるよう留意しながら、今後も必要な変更をしていく。（会長）

6.その他
・黒潮会新入会員歓迎会を来年5月頃に開催する予定。
・今幹事会より関野裕樹さん（５６期）に支援担当幹事を委嘱した。

次回幹事会　　平成２４年３月１８日（日）　午後１：３０～　八雲住区センター会議室

次回議題
黒潮会新入会員の歓迎会ついて
平成２４年度　各事業の活動方針について

以上

（書記　柳川）